

3 点検・お手入れ

点検

△注意 ボルトやネジがゆるんだままで使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。

ネジのゆるみ

使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、お買い求め先の弊社担当者にお申しつけください。

お手入れ

通常のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。



ひどく汚れた場合

中性洗剤を薄めた液を柔らかい布に浸し、よく絞って拭き取り、その後乾いた柔らかい布で十分に乾拭きしてください。

人も生き生き、地球も生き生き—ユーデコスタイル

Ud & Eco style

保証の明細

この度はイトーキ製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体添付のラベル等の注意書による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お買上げ販売店へご連絡ください。

■保証項目

●保証期間は、JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外觀表面仕上げ	塗装・クロス・樹脂パーツの変色および褪色・摩耗
2年保証	機能	スライド機構、キャスター、アジャスター、引出し・扉施錠機構
3年保証	構造部材	主材の変形・割れ・破損

※保証項目は、各機種共通とさせていただきます。

■保証書の発行

別途、保証書がご入用の場合は、お買い求め先の弊社担当者にお申しつけください。

■保証対象外の場合

- 火災・天災による故障の場合。
- 改造またはご使用者の責任に帰すると認められる故障の場合。

株式会社イトーキ お客様相談センター ☎0120-164177 <http://www.itoki.jp/>

4 主要部位と材質・表面仕上

部位	主な材質	
構造材	本体	金属（鋼）
	棚板	金属（鋼）
	引手	ABS樹脂
	トレイ	PS樹脂
表面仕上げ		ポリエステル樹脂塗装
		アクリル樹脂塗装

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

ITOKI

システム収納

シンラインキャビネット・eSキャビネット

取扱説明書

保証の明細付

この度はイトーキ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、いつもそばに置いて、わからない時にご再読ください。また、製品をほかの方に渡す時には、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

■この取扱説明書の図はシンラインキャビネットで説明していますが、他のシンラインキャビネットシリーズも同様にご使用ください。

- 1.安全上の注意事項 P. 1
- 2.ご使用方法 P. 3
- 3.点検・お手入れ P. 8
- 4.品質表示 P. 8
- 5.保証の明細 P. 8

1 ⚠安全上の注意事項

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。

注意の種類の規定:JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）による次のような危険性の規定に基づいています。






- ⚠警告** 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。
- ⚠注意** 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。
- 🚫** このマークは禁止行為を表わします。
- ❗** このマークは行為の指示を表わします。

⚠警告

<p>上下連結、左右連結、背合わせ連結をしてください。引出しの開閉時に倒れてきて、けがをすることがあります。</p>	<p>引出しは1段階ずつ引き出してください。複数段階を引き出すと倒れてきて、けがをすることがあります。</p> <p>●引出しのセーフティーロックについては、P5をご覧ください。</p>
<p>引出しは上段にだけ収納しないでください。引き出した時に倒れてきて、けがをすることがあります。</p> <p>引出しへの収納は、最下段から行ってください。最上段から入れると、転倒するおそれがあります。重いものは下段に収納し、重心をさげてください。</p>	<p>転倒防止対策をおこなってください。引出型、扉型引出式、奥行き300mm以下のキャビネットを単体でご使用の際はウェイト（別売）を取り付けるか、壁固定・床固定をおこなってください。</p>

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。


警告

 <p>レイアウト変更時の移動、据付けは、ご自分でなさらずにお買い求め先の弊社担当者にお申しつけください。</p>  <p>使用中に製品が倒れてきてけがをすることがあります</p>	 <p>コンセントの定格を超える使い方をしないでください。 定格容量 100V12A (1200W)</p>
 <p>改造、分解は絶対にしないでください。 改造や分解によって異常な動作をしてけがをすることがあります。</p>	 <p>製品に貼ってあるラベルや警告表示をはがさないでください。</p>

注意

 <p>現金や貴重品を入れないでください。工具などで破壊されて盗難にあうことがあります。</p> 	 <p>危険物(壊れ物、薬品など)を収納しないでください。人体や備品などを傷つけることがあります。</p> 
 <p>上段の扉を開けたまま、下段の作業をしないでください。立ち上がったときに扉にあたり、けがをすることがあります。</p>	 <p>スライド部分などの可動部に注油しないでください。油がたれて、床や収納物を汚したり、扉の開閉に支障をきたす原因になります。</p> 
  <p>本体や棚板の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。</p>	 <p>書類を横積みにしたり、乱雑に収納しないでください。開閉不良の原因になります。</p> 
 <p>居室の換気をせずに使わないでください。シックハウス症の原因になることがあります。</p> <p>必要換気量の求め方 必要換気量 = $\frac{20 \times \text{居室の床面積 (m}^2\text{)}}{1 \text{人当りの占有面積 (m}^2\text{)/h}}$</p> <p>[建築基準法に基づく方法 オフィス内における換気量算出の一例です。] (注1) 上式の「20」は20 (m³/h・人)の意味ですが、この根拠は成人男子が静かに座しているときのCO₂排出量に基づいた必要換気量です。 (注2) 居室では1人当りの占有面積が10 (m²)を超える場合は、10 (m²)とします。</p>	 <p>ぬれた傘や、湿気のあるものは収納しないでください。</p>
 <p>扉などの開閉をおこなうときは必ず引き手を持って操作してください。 手をはさまれて、けがをすることがあります。</p>	 <p>直射日光が当たるところでのご使用は避けてください。変色などの原因になります。また、熱器具の付近、極端に寒い場所、多湿な場所での使用はお避けください。</p>
 <p>ガラス開き戸は、下段に置くと、物がぶつかったりした場合破損することがあります。 必ず上段に設置してください。</p>	 <p>直射日光が当たるところでのご使用は避けてください。変色などの原因になります。また、熱器具の付近、極端に寒い場所、多湿な場所での使用はお避けください。</p>

注意

-  最大積載質量(下表)以上に収納しないでください。本体の転倒や変形の原因になります。
最大積載質量は棚板などに均一に積載した場合の質量です。
収納物は一箇所に集中させないようにして収納してください。
一部分に偏った載せ方をしますと、転倒や落下する恐れがあります。
また、棚板を増設した場合はキャビネット1台あたりの総最大積載質量を超えないでください。



●総最大積載質量＝標準装備の棚板枚数×棚板1段あたりの最大積載質量

棚板および引出し1段あたりの最大積載質量

W900×D450

名称	最大積載質量 (Kg)
W900用棚板	53
片開き扉用棚板	25
3列オープン用棚板	15
3人用ワードローブ用棚板	20
H1040キッチン 棚板 大/小	25/15
H1040キッチン バスケット	1
H2100キッチン 棚板 中棚/下棚	30/53
H2100キッチン スライドテーブル	5
H2100キッチン 引き出し	3
雑誌架棚板	53
図面収納オープン棚板	60
B4/A4引出し	55
B5引出し	40
B6引出し	30
A4引出し	40
A4コンビ・小引出し	15
B4 1/2 引出し	25
扉型大引出し	55
扉型小引出し	25
スライドタイプD340用棚板	38
スライドタイプD300用棚板	33

W900×D400

名称	最大積載質量 (Kg)
W900用棚板	46
雑誌架棚板	46
大引出し/A4引出し	46
B5引出し	32
A6引出し	25
扉型引出し	40

W900×D500

名称	最大積載質量 (Kg)
W900用棚板	70
W900 D550用棚板	77
A3引出し	55

クリスタルトレイ(全機種)

名称	最大積載質量 (Kg)
クリスタルトレイ	2

W800×D450

名称	最大積載質量 (Kg)
W800用棚板	47
片開き扉用棚板	20
3列オープン用棚板	15
H2100キッチン 棚板 中棚/下棚	25/47
H2100キッチン スライドテーブル	5
H2100キッチン 引き出し	3
雑誌架棚板	47
A4引出し	45
A5引出し	35
B4/A4引出し	45
A3引出し	45
A6引出し	25
A4コンビ・小引出し	20
扉型引出し	45
D300用棚板	29

W800×D400

名称	最大積載質量 (Kg)
W800用棚板	41
雑誌架棚板	41
大引出し/A4引出し	41
扉型引出し	40

2 ご使用方法

錠の開け方、閉め方

開け方

キーを左へ止まるまで回転させると、錠を開けられます。(解錠時、インジケータは青色)

閉め方

キーを右へ止まるまで回転させると、錠がロックされます。(施錠時、インジケータは赤色)
全ての扉・引出を閉めてから施錠してください。

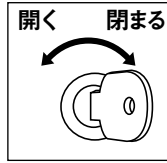
*一部、インジケータのない機種があります。

*ダイヤル錠、プッシュボタン錠、スマートロックのご使用方は別紙をご覧ください。(対象機種のみ)

*ダイヤル錠のご使用方は別紙をご覧ください。(ダイヤル錠の機種のみ)

*引出しは全ての引出しがロックされるオールロック機構です。なお、個別収納タイプは引出し1段または1個ずつ施錠してください。

*鍵の紛失にご注意ください。

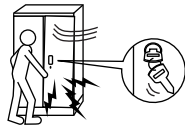


⚠️注意

❌ スペアキーを、本体内部に入れて保管・施錠しないでください。

❌ 施錠したまま、扉や引出しを閉めないでください。本体や施錠機構がこわれることがあります。また、鍵の閉じ込めなどが起こることがあります。

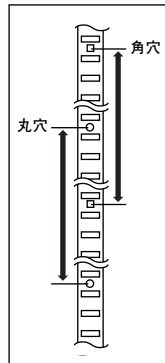
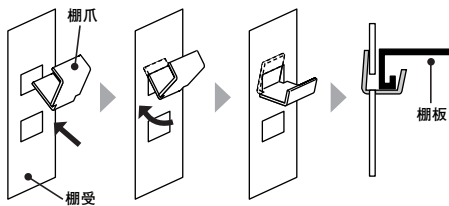
❌ キーを差し込んだまま、開閉しないでください。鍵の破損や紛失の原因になります。



棚板の取付け方

1. 棚爪を取り付けます。

- ① ななめに さし込む。
- ② かるく回転 させる。
- ③ セット 完了
- ④ 棚板を のせる



■ 棚受には、棚爪・棚板のセットに便利のように目印穴がありますので目印穴の下に棚爪をセットしてください。

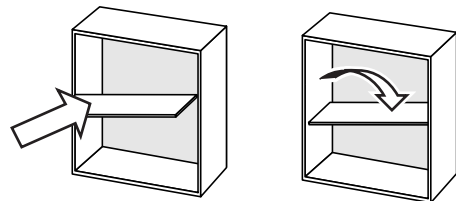
丸穴はA4ファイルを縦で収納する場合、角穴はA4ファイルを横で収納する場合の目印になります。

*一部丸穴のみの機種があります。

*ファイリング用品は各メーカーによって異なりますので、ご確認のうえご使用ください。

2. 棚板をセットします。

- ① 棚爪のセット後、棚板をななめに本体の中へ入れる。
- ② 回転させて 落とし込む。



⚠️注意

❗ 棚爪は4個とも同じ高さに取り付け、爪が棚受に確実に入っていることを確認してください。棚板が傾斜して収納物が落下することがあります。

❗ 収納物は棚板内にきっちりと収めてください。はみ出していると開閉時に当たって、収納物や扉の破損の原因となります。

扉および引出しの開け方・閉め方

開け方

扉や引出しを開ける時は、引き手に手をかけてゆっくり開けてください。

引き手以外の場所を持って操作をすると、けがや破損の原因となります。

閉め方

扉などを閉める際は、完全に閉めるようにしてください。完全に閉まっていないとラッチ機構がはたらきません。

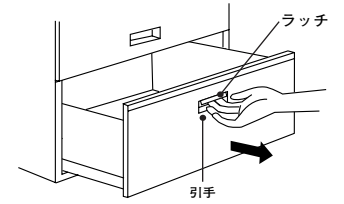
●ラッチ機構とは

地震などの振動による扉や引出しの飛び出しを防止します。耐震用ラッチは引き手部に内蔵されており、引き手を引くことで解除されます。

*シャッター扉などラッチ機構がない機種もあります。

●引出しのセーフティロックについて

引出しを出したことによる重心移動が原因の本体転倒を防ぐため、引出しは1段ずつしか引き出せないようになっています。使用した引出しを完全に閉めてから、他の引出しを引き出してください。



*引き手の形状は機種によって異なります。

⚠️注意

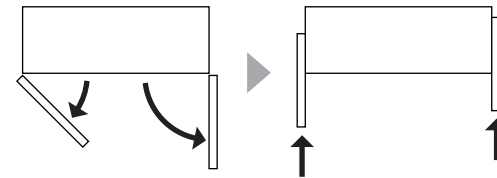
❌ 扉、引出し、引戸などを強い力で押したり物をぶつけたりしないでください。本体の破損、故障の原因になります。

❌ 扉裏に手をまわさないでください。扉裏にある施錠機構などに手をはさんで怪我をすることがあります。

❌ 天板上に物を載せる場合にはオプション天板をご使用ください。扉や引出しの開閉ができなくなることがあります。

■マジック扉の開閉のしかた

本体より90°に開き、奥に押し込みます。



■雑誌架扉の開閉のしかた



引手の中央部を持って上にスイングさせます。水平まで持ち上げたら本体内部へ止まるまで押し込んで固定させます。



引手の中央部を持って水平に止まるまで引き出したら、下にゆっくりスイングさせて閉めてください。

⚠️注意

❌ マジック扉は90°以上開かないで下さい。故障の原因となります。

❗ マジック扉型は左右連結ができません。本体を固定金具で床や壁に固定し、重量物は下段に入れてご使用ください。

⚠️注意

❌ 扉の端を持って開閉はしないでください。

❌ 扉を90°以上に持ち上げないでください。

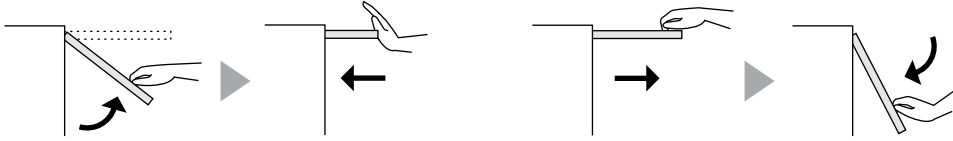
❌ 扉を開いた状態で、扉の上に雑誌以外の重量物を置かないでください。

扉および引出しの開け方・閉め方

■扉型扉の開閉のしかた

開け方

引手をもって扉を上へスイングし、扉を水平まで持ち上げ、本体内部へ完全に押し込みます。



閉めかた

扉の先端部を下から手をかけ、水平に少し引き出し、引手に持ちかえます。扉をさらに引き、ストッパーに当たったら、下にスイングさせて閉めてください。

⚠️注意



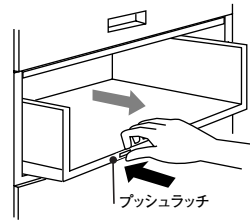
扉を水平以上に持ち上げますと、ストッパーに無理がかかり破損の原因になります。閉める場合は引出しを完全に収納してから扉を引き出し、静かに閉めてください。



引き出した扉に物をのせないでください。扉が破損したり、物が落下してけがをすることがあります。

■扉型引出しの出し方

耐震用プッシュラッチを押しながら手前に引き出してください。引出しを出したことによる重心移動が原因の本体転倒を防ぐため、引出しは1段ずつしか引き出せなくなっています。使用した引出しを完全に閉めてから、他の引出しを引き出してください。

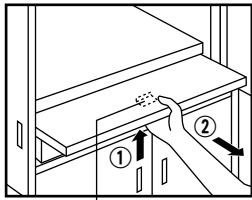


キッチン型

■スライドテーブルの出し入れ

- ① ロックレバーを持ち上げロックを外します。
- ② レバーを持ち上げたまま、テーブルを前後にスライドさせます。

- ロックレバーをはなすと、テーブルは一番奥または一番手前のストッパーに当たった位置でロックされます。



ロックレバー(裏側)

■電気コンセントのご使用方法

コンセントの定格を超える使い方をしないでください。

定格容量
100V 12A (1200W)

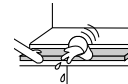
⚠️注意



湯沸かし器等の使用は避けてください。



スライドテーブルは、物が載っていないことを確認してから収納してください。



調味料、ぬれたコップ、ぬれぞうきん等は、錆や変色、天板のフクレの原因になりますので、直接置かないでください。



ガラス引戸は乱暴に扱わないでください。



コードを踏んだり、傷つけたりしないでください。

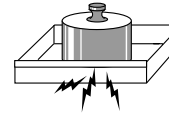


コードを、他のキャビネットで押しつけたり、下敷きにしたりしないでください。



プラグはしっかり最後までさし込んでください。

クリスタルトレイ型 / 扉付・シャッター付クリスタルトレイ型



トレイの開閉は、静かに行ってください。

⚠️注意



乱暴に扱わないでください。トレイの破損の原因になります。



トレイには、最大積載質量以上の物を載せないでください。本体の転倒やトレイの破損の原因になります。トレイの耐荷重は3ページをご覧ください。



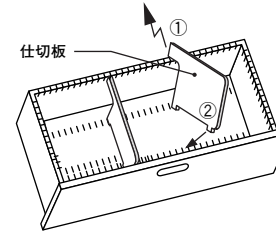
扉付やシャッター付クリスタルトレイの場合、扉やシャッターを完全に開いてからトレイを引き出してください。扉やシャッターを閉めるときは、すべてのトレイを奥まで完全に入れてから閉めてください。本体やトレイの破損、故障の原因になります。

仕切板の取付け方

■引出しB4・A4フォルダー用仕切板

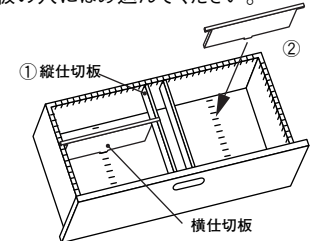
■引出しA4フォルダー用仕切板

- ① 付属の仕切板の、突起が1コの方を、後ろ側の穴にななめにさし込んでください。
- ② 引出し底面の穴に、仕切板下部の突起をはめ込んでください。



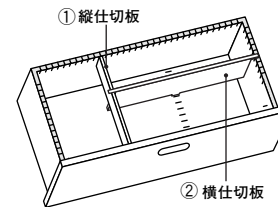
■引出しA4用横仕切板

- ① 縦仕切板(2枚)の突起が2コあるほうの端を引出し前面の中央寄りの穴にさし込んだのち、後ろ側をはめ込んでください。
- ② 横仕切板(2枚)を引出しの側面、底面、および縦仕切板の穴にはめ込んでください。



■引出しA3フォルダー横仕切板

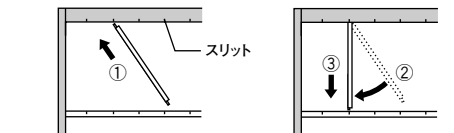
- ① 縦仕切板を、引出し前面の左右どちらかの穴に手前側からさし込んでください。
- ② 横仕切板を引出しの側面、底面、および縦仕切板の穴にはめ込んでください。



■図面収納オープン 可動仕切板

仕切板中央に矢印の刻印がある方を上にし、仕切板下部のツメが小さい方を前にしてください。

- ① 本体上部にあるスリットに仕切板のツメ(上)をななめ下から差し込んでください。
- ② 差し込んだツメが抜けないように、仕切板を持ち上げながらツメ(下)を、本体下部スリットに合わせてください。
- ③ そのまま、まっすぐ下へ降ろしてセットしてください。



*仕切板は機種によって標準装備されているものが異なったり、標準装備されていないものがあります。
*収納を便利にするオプションが揃っております(別売品)。詳しくはカタログをご覧ください。お買求め先の弊社担当者にお問い合わせください。